

桃園地域座談会ニュース vol.1

平成 29 年 2 月 24 日、第 1 回「桃園地域 座談会」を開催しました。
浦野連合会長、千田民生委員長をはじめ、町会長、民生委員、主任児童委員の
みなさん、地域福祉コーディネーター、区役所、区社協、地域包括支援センタ
ーの総勢 16 名が参加しての賑やかな会となりました。



まずはじめに、地域関係者・介護サービ
ス事業者・地域包括支援センター等が連
携して支援をした M さんのケースについ
て報告をしました。
その後、地域の中で気になっていること
や日頃の見守り活動の中で感じているこ
となどを意見交換しました。

「隣近所が『何か様子がおかしい』と気づいて伝えてくれたら発見できる」
「普段の付き合いが大事」
「気づきの目は多い方がいい」
「埋もれている人をどう支援するかがむずかしい」
「マンションの情報が入ってこない」
「気になる人がいる時、どこに連絡すればいいのかわからない」
など、たくさんのご意見を頂くことができました。

「いつもと様子が違う、と気づいた人が声を上
げれば、支援やサービスにつながるのでは？」
という意見から、
気づくためには普段からのお付き合いや見守
りが大切であること、気づきのセンサーを高め
ると発見しやすいこと、対応方法や相談先を知
っていて、地域と専門職間の顔の見える関係が
あればスムーズに支援できることが考えられ
るのではないのでしょうか。



相談窓口を知っていると
安心だと思う

多くの人が「気づくこと」がで
きればいいのか？

意見交換・情報交換でき
る場を継続して持ちたい

引き続き、座談会で話し合っていきたいと思います。